

新発田地区納税貯蓄組合連合会長賞

税金の大切さ

新発田市立 加治川中学校 三年 須 貝 美 裕 さん

私は税について「消費税」ぐらいしか知らなかった。税は、「子どもが払わなくてもいいんじゃないか」と思っていた。

しかし租税教室を受けて税は「子ども」にも大きな役割を果たしていると分かった。公園や道路は税金で作られている。もし、税金がなく有料だったら私はいろんな友達と公園で遊ぶことができなかつたと思う。そして学校の教科書や教室にあるパソコンや実験用具、体育用具に使われている。これらも税金がなく有料だったら限られた人しか授業を受けられなくなる。このように税金は子どもたちの未来の架け橋になっていると思う。

私は時々学校に行きたくないと思うことがある。朝は早く起きなければいけないし、嫌いな勉強もしなければいけない。唯一の楽しみは友達と昼休みにドッジボールをするくらいだ。けどもし税金がなかったら私は今どんな暮らしをしていたのだろうか。授業を友達とできないかもしれないし昼休みにドッジボールもできていなかったかもしれない。友達すらできていなかったかもしれない。税金というのは、私たちを育ててくれているのかもしれない。勉強したいといえはすぐ教えてくれる先生がいて、遊びたいといえはすぐ友達と遊ぶことができる。税金というのは子どもたちの未来をつくり、人と人が協力し合う手助けをしている大きな存在ということが分かった。

私たちは税に関心が薄い。もっと税のことを広めていけばもっと毎日の暮らしを特別に生きていけると思った。私も租税教室を受けるまで税についてはよく分からなかった。毎日の生活がこんなにも税に守られているとは知らなかった。そして税というのは「今」だけを守っているのではない。私たちの幼少期や「未来」のことも守ってくれている。子どもたちがより豊かに育っていけるために、幼稚園や保育所にも税金が支援されています。そして65歳以上になったらもらえる「年金」も税金で賄われています。その他にも生活が苦しくなったときに年金は使われています。このように私たちは間接的に国民同士助け合っています。「消費税なんて子供は払わなくいい」と思っていたましたが、自分は税に支えられていたことが分かった。これからは税に不満を持っている人がいたら、税は私たちの一生を守ってくれていると伝えたいです。そして私たちは税で助け合っていることを伝えたいです。